

※作業期間の赤書き箇所が変更となっていますので、ご協力をお願い致します。

関門航路(早鞆瀬戸地区・前田沖)灯浮標一時移設・復旧のお知らせ

次のとおり、関門航路(早鞆瀬戸地区・前田沖)において、灯浮標の一時移設・復旧工事を実施しますので、付近を航行する船舶は十分な注意と工事への協力をお願い致します。

1. 灯浮標一時移設・復旧位置及び期間について

灯浮標名称	種別	作業船種	隻数	期間	作業時間	位置	備考
関門航路第三十一号灯浮標	灯浮標移設	クレーン付台船 潜水士船 警戒船 広報船	1隻 1隻 2隻 1隻	平成25年6月中旬～下旬	日の出 ～ 日没	N 33° 58' 30.9" E 130° 58' 41.7"	告示位置より 58° 方向に 約100mの位置
	灯浮標復旧	クレーン付台船 潜水士船 警戒船 広報船	1隻 1隻 2隻 1隻		平成25年10月中旬～下旬	日の出 ～ 日没	N 33° 58' 29.2" E 130° 58' 38.4"

※原則として土曜、日曜、祭日は作業しませんが、場合によっては行うことがあります。

2. 灯浮標一時移設・復旧場所について 図-1参照

3. 灯浮標一時移設・復旧作業の概要及び安全対策

【作業概要】

- 1) 潜水士船及びクレーン付台船が各1隻にて作業を実施します。
- 2) 潜水士により、海中の灯浮標のアンカー等に玉掛けを行います。
- 3) クレーン付台船により吊り上げ、移設を実施します。
- 4) クレーン付台船はアンカーを使用する可能性がありますが、240.1°線よりも航路内側には配置しません。

【安全対策】

- 1) クレーン付台船には、海上衝突予防法の規定による灯火及び形象物を掲げ、作業中は作業区域の四隅に玉ブイを設置します。
- 2) 潜水士船には、海上衝突予防法の規定による国際信号旗(A旗)を掲げ、潜水作業中であることを航行船舶に明示します。
- 3) 作業中は作業船団の周辺に警戒標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船を2隻(うち1隻は国際VHF無線及び船舶電話を装備したもの)を配置します。
- 4) クレーン付台船は可航幅が広がるように配慮し、下関側航路法線と概ね平行に配置します。

4. 行き会い回避の協力依頼

灯浮標一時移設・復旧作業実施時は、作業場所周辺での10,000GT以上の船舶の行き会い回避にご協力をお願いします。

5. 航行船舶へお願い

- 1) 関門航路を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取するとともにこれを活用して下さい。
- 2) AIS搭載船にあたっては、AISを正しく運用して下さい。
- 3) 作業実施中に現場付近を航行される場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速すると共に、出来る限り作業船団から離れて航行して下さい、ご協力をお願いします。
- 4) 本作業中は広報船を配置していますので、その存在を確認した際には、作業を行っていることと認識して下さい。

6. 作業情報

本工事の実施状況の確認にあたっては、以下に記載している「関門支援業務室」にお問い合わせ下さい。

●関門支援業務室

TEL 083-222-1333 E-mail kanmonanzen@sweet.ocn.ne.jp
FAX 083-222-1334 H P http://www8.ocn.ne.jp/~kanmon

九州地方整備局 関門航路事務所 TEL 093-512-8099 本資料は、下記のHPでもダウンロードできます。
建設管理官室 FAX 093-512-8106 http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon

図-1 関門航路第三十一号灯浮標一時移設・復旧

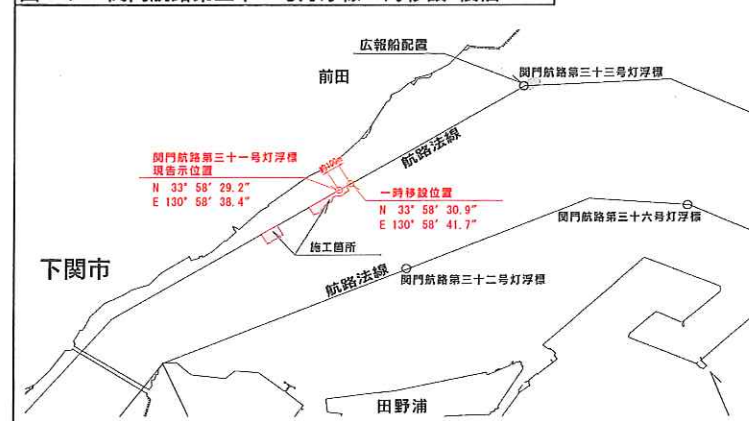


図-2 灯浮標移設・復旧作業状況平面図

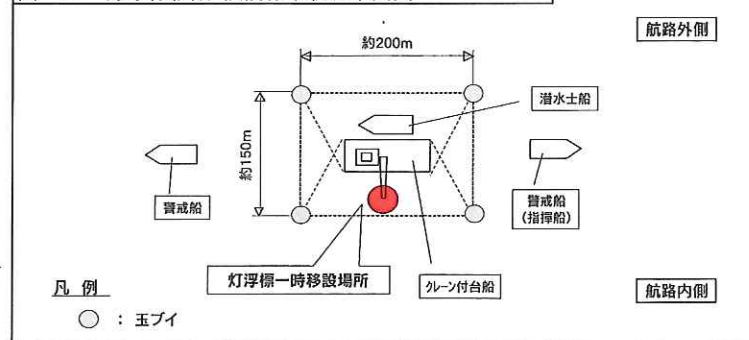
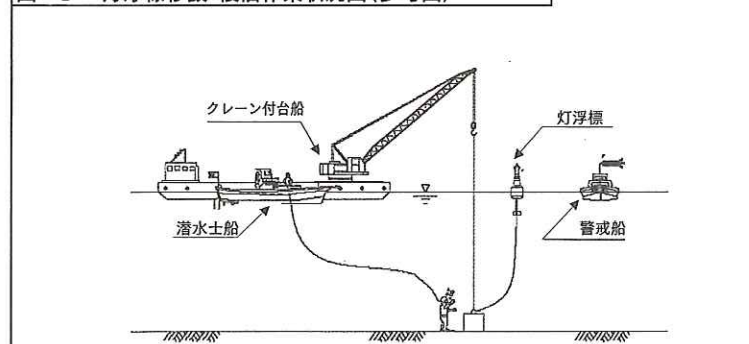


図-3 灯浮標移設・復旧作業状況図(参考図)

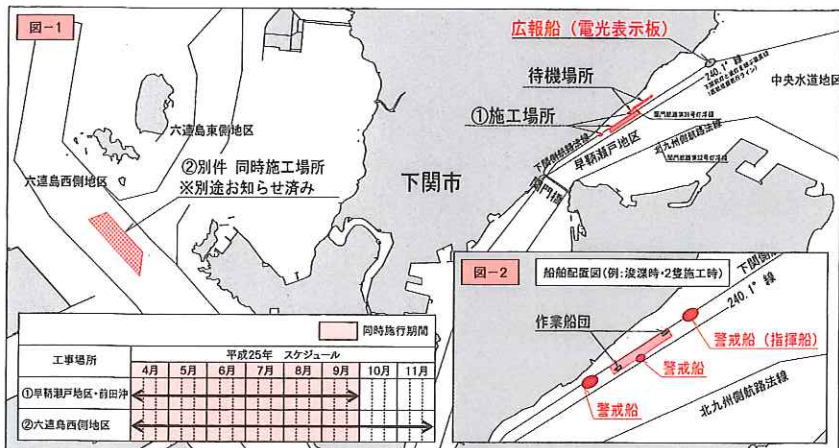


※作業期間の赤書き箇所が変更されていますので、ご協力をお願い致します。

関門航路【早鞆瀬戸地区・前田沖】浚渫工事等のお知らせ

次のとおり、関門航路【早鞆瀬戸地区・前田沖】の潜水探査、浚渫、土質調査、振動試験を実施しますので、付近を航行する船舶は十分注意して下さい。

九州地方整備局 関門航路事務所 TEL 093-512-8099
 建設管理官室 FAX 093-512-8106
 本資料は、下記のホームページでもダウンロードできます。
<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon>



1. 作業期間

地区名	種別	作業船種	隻数	期間予定 (※1)	作業時間	対策
早鞆瀬戸地区 (前田沖)	潜水探査	潜水土船	16隻 (最大)	平成25年6月上旬～平成25年7月上旬	日の出～日没 (現地潮流2ノット以下)	警戒船 4隻 広報船 1隻
	土質調査	グラブ浚渫船	1隻	平成25年7月上旬～平成25年9月下旬 の内、1日程度(1地点を1日で実施予定)※4	日の出～日没 (調査完了まで)	警戒船 2隻 広報船 1隻
	グラブ浚渫	グラブ浚渫船	3隻 (最大)	平成25年6月上旬～平成25年10月下旬	日の出～日没 (現地潮流4ノット以下)	警戒船 3隻 (最大) 広報船 1隻
	振動試験	グラブ浚渫船	1隻	平成25年7月上旬～平成25年10月下旬 の内、2日間程度 (想定)	日の出～日没 (現地潮流4ノット以下)	警戒船 2隻 広報船 1隻

- ※1 作業の予定時間は一部重なっていますが、同時作業は行いません。
 ※2 潜水探査の作業時間(現地潮流2ノット以下)の潮流信号所の表示の目安は、4ノット以下となります。グラブ浚渫及び振動試験の作業時間(現地潮流4ノット以下)の潮流信号所の表示の目安は、6ノット以下となります。なお、潮流信号所の表示は目安であり、目安の表示を超えた場合においても、それぞれ現地潮流2ノット及び4ノット以下の場合は作業を実施しますので、施工場所付近を航行する際は、ご注意ください。
 ※3 土質調査については、調査地点を連続作業で実施する必要があり、夜間に実施する可能性があります。
 ※4 土質調査は1地点につき、調査完了まで作業を行うことから、作業状況により2日間に渡って実施することがあります。
 ※5 土質調査は、グラブ浚渫期間中のうち、概ね小潮期において実施します。

2. 作業概要

- 2-1 潜水探査 (図-1, 3参照)
 潜水土船(最大時16隻)から各々潜水士が1名入り、簡易磁気探査機を使用して探査区域内を移動しながら作業します。
 2-2 浚渫工事及び振動試験 (図-1, 4参照)
 1) スパッド式グラブ浚渫船(最大3隻)により浚渫します。
 2) スパッド式グラブ浚渫船は、夜間及び作業を行わない時は間接照明で船体を照射し、作業船待機場所に待機します。
 2-3 土質調査 (図-1, 5参照)
 1) スパッド式グラブ浚渫船(1隻)に土質調査足場を設置して実施します。
 2) 日没後に土質調査を実施する場合は、標識灯(黄色・3秒1閃光)を船体4隅に設置し明示します。
 3) スパッド式グラブ浚渫船は、夜間及び作業を行わない時は間接照明で船体を照射し、作業船待機場所に待機します。また、夜間待機中も標識灯(3秒1閃光)を併用して明示しています。

3. 安全対策

- 3-1 潜水探査 (図-2, 3, 6参照)
 1) 潜水土船には国際信号旗(A旗)を掲げ、潜水作業中であることを航行船舶に明示します。
 2) 潜水作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船(4隻)を潜水土船団の周辺に配備します。
 3) 潜水土船は可航幅が広くなるように配慮し、下関側航路法線と概ね平行に配置します。
 4) 潜水作業中は探査区域に旗を配置します。
 3-2 浚渫工事及び振動試験 (図-2, 4, 5, 7参照)
 1) スパッド式グラブ浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火又は形象物を掲げます。
 2) 浚渫作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船(最大3隻:浚渫船2隻以上の場合)を配備します。
 3) 浚渫船は可航幅が広くなるように配慮し、下関側航路法線と概ね平行に配置します。
 3-3 土質調査 (図-2, 5, 8参照)
 1) スパッド式グラブ浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火又は形象物を掲げます。
 2) 土質調査中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を掲げた警戒船(2隻)を配備します。
 3) 浚渫船は可航幅が広くなるように配慮し、下関側航路法線と概ね平行に配置します。

4. 行き会い回避の協力依頼

潜水探査・浚渫実施中は、作業場所周辺での10,000GT以上の船舶の行き会い回避にご協力をお願いします。

5. 通航船へのお願い

- 関門航路を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取するとともにこれを活用して下さい。
- AIS搭載船にあたっては、AISを正しく運用してください。
- 潜水探査及び浚渫工事中に作業現場付近を航行する場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速すると共に、出来る限り作業船団から離れて航行して下さい。
- 門司埠付近から作業区域周辺での他船の追い越しは行わないで下さい。
- 本工事業中は広報船を配置していますので、その存在を確認した際には作業をおこなっていると認識して下さい。(図-1参照)

6. 作業情報について

左記のとおり、本工事に関する問い合わせ先を記載します。問い合わせにあたっては、可能な限り日本語でお願いします。週間作業予定(1週間前掲載)及び毎日の作業予定は、左に記載するHPに掲載しますので運航の際の参考にして下さい。

●関門支援業務室 作業情報、運航調整に関する問い合わせ先
 TEL 083-222-1333 E-mail kanmonanzen@sweet.ocn.ne.jp
 FAX 083-222-1334 HP <http://www8.ocn.ne.jp/~kanmon>

